

■ ■ ■

□本誌の口繪はワットマン六ツ切大に候

□本誌發展のため特別讀者を募り候處幸ひ

に同情を寄せらるゝ諸君多く此分にては遠

からず毎號一葉の精巧石版を加へ得べしと

樂しみ居候處この程本誌印刷所より物價騰

貴のため職工困難を理由として組版印刷代

等の値上を請求なし來り候

□印刷組合決議の上とあれば不得止事に御

座侯が斯くては折角集め得たる特別讀者よ

りの割増金は此方に填充せられ何等の發展

も出來ぬこと、可相成候

□此際定價を引上候事は望ましからずされ

ばとて思ひ立ちたる發展策を中止するもの

も厭なれば印刷所の方の値上を充分切詰賞ふ

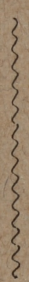
と同時に猶一層特別讀者の數を殖して此困

難を切抜たき希望に御座候

□されば本誌の發展を望み且多少にても餘

裕ある諸君は何卒本誌の特別讀者となりて

斯道のため其力を致されんとを希望致候



美術家小傳』は、繪畫彫刻建築製版等の各

先輩七十餘名の傳記を集め、故人の肖像二

十有餘を寫真版として挿入したるものにし

て、他に此種の書物なく、洋風美術今日の

發達を知るには最も適當の珍書なるが、今

回殘本百餘部を實費を以て希望者に頒つべ

し御入用の方は一部送料共全貳拾貳錢（振

替貯金なれば登記料共金貳十四錢）を添へ

春鳥會へ申込まれたし

近時雜聞

△太平洋畫會展覽會は五月十七日と三十日

間上野公園竹の臺陳列館にて開會すべく、

故淺井忠氏の遺作を陳列し、又吉田博氏は

その歐米漫遊中の作品百餘點を出品すべく

中川八郎氏は信州野尻湖附近の景を、丸山

晚霞氏は小笠原島及信州澁温泉附近、及武

州飯能邊の寫生畫を、河合新藏氏は信州北

城邊の殘雪を、大橋正堯氏は九州及び韓國

の風景を、大下藤次郎氏は東海道海岸及信

州の山嶽及湖水の圖を出品すべしといふ

△石版製版術の進歩を圖るため組織せられし虹交會にては、今回星野錫氏を會頭に推

し、毎月一回『虹』と題する會報を發行し

事務所を神田區佐柄木町十一番地細井種生

氏方に置けり

紹介

◎廣島尙古繪葉書

第五輯

鮮明なるコロタイプ六枚一組にして、銀山

の景、嚴島神社の釣燈籠、全青磁塔、宮崎

氏所藏の瓢、門田撲齊、菅茶山の像、洞文

筆鷹の圖等を藏めたり（二十錢、廣島市革屋

町、藤谷□○堂發行）

◎山岳 第三年第一號

本號には奥の富士、羽後富士鳥海山、二荒

のおちば、青梅街道より竹森山を越して秩

父街道に出づる記、白崩山を登り駒ヶ岳を

降る、黒部川及び高瀬川旅行記、白馬岳植

物採集案内、加賀白山の裏山降り（北陸三

山跋涉記）彦山の裏道等を藏め入葉の山岳

アートタイプ及び幾多の寫真版を挿み其他

山岳に關する雜錄雜報等を滿載せり、たゞ

本號に於て小鳥烏水氏の紀行文を缺きしは

少なからず吾人を失望せしめたり（一冊三

十五錢會費一ヶ年金一圓（年三回發行）牛込